

社長のメッセージ

企業は、地域、株主、顧客、従業員とその家族といった多くの利害関係者に支えられて存在する社会的存在です。その社会とのかかわりあいには、単に経済的便益の提供にとどまらず、豊かな社会生活への貢献、人々の働き甲斐の創出、環境との調和による持続可能な社会へのコミットメントなど、経済、社会、環境の様々な面に及びます。つまり、企業は一地球市民としての責任を果たし、豊かな未来づくりに貢献することによって、はじめて企業として成長することができるのであり、利益はその対価に過ぎません。

当社の経営理念であるバリュートレーダーは、社会に豊かな価値を届けることを自らの使命とするものであり、それが、トーマンの誇りの源泉でもあります。自らの知恵と努力で次代の価値を生み出し、新たなビジネスを構築し、世界に広げていく。それを「はばたく、駆ける、超える、バリュートレーダー トーマン」というスローガンで表現してきました。この理念に基づき、トーマングループの役員・社員が日々こころがけるべき基本的な行動指針をまとめたものが「トーマングループ行動基準」です。成長と活力という企業の課題は、それと表裏一体のものとして必ず責任という課題を伴っており、コンプライアンスの徹底はもとより、社会市民として果たすべき責任は、多岐にわたります。

大切なことは、これらの理念や行動基準が、社員一人ひとりの意識、行動パターンとして浸透していることです。そのため、わたしは社長就任以来、新入社員から幹部クラスまで、内外の多くの社員と直接対話を繰り返してきました。社員ひとりひとりに、バリュートレーダーとしての誇りと自覚を持っていただきたかったからです。

2006年4月、トーマンは豊田通商と合併し、新しい豊田通商として出発します。それは常に活躍の舞台を広げ、新たな挑戦をやめないトーマンのDNAの継承であると同時に、新しい組織の中で新たな責任を担うことでもあります。

トーマンとしての最後のCSRレポートは、合併に向けたトーマングループの心構えを示し、合併会社でトーマンが果たすべき役割を再認識するとともに、これまでトーマングループをご支援してくださった関係者の皆様に、合併会社がどんな会社になるのか、ご理解いただくための、一助になればと考えております。これまで支援してくださった多くの皆様に御礼申し上げますとともに、今後も一層のご支援を、よろしくお願い申し上げます。



2006年1月
取締役社長 蔭山真人